

令和5年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立馬込東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 自然現象を視覚的に捉えるため ICT 機器の効果的な活用や科学に関する話題・ニュース等を積極的に取り上げた授業展開をすることにより、主体的に学習に取り組む態度を維持・向上させることができた。
- ・ 基礎的な用語や結果の理解、基本的な計算の仕方など、既習事項についての復習を定期的に行うことにより、自然事象についての知識・技能を定着させることができた。
- ・ 実験結果の考察とその理由を積極的に問うことで観察力や推察力を高めることができた。

(2) 課題

- ・ 1学年は、ICT 機器や科学に関する話題・ニュース等を積極的に活用することで、自然事象への興味や関心をもたせ、基礎的な知識・技能を高めていく必要がある。
- ・ 2学年は、小テスト等の実施によって重要用語の知識・技能や基本的な計算力を高め、それをもとに実験の考察等において思考・判断・表現力の向上を図る必要がある。
- ・ 3学年は、小テスト等の実施によって重要用語の知識・技能や基本的な計算力を高め、それをもとに実験の考察等において思考・判断・表現力の向上を図る必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標値に対し、全ての観点でほぼ同じ～4.3ポイント上回り、正答率も2.8ポイント上回っている。		
第2学年	目標値に対し、全ての観点で2.1～5.4ポイント上回り、正答率も4.0ポイント上回っている。	目標値に対し、全ての観点で1.7～3.4ポイント上回り、正答率も2.5ポイント上回っている。	
第3学年	目標値に対し、全ての観点で9.0～11.1ポイント上回り、正答率も10.2ポイント上回っている。	目標値に対し、全ての観点で8.4～9.6ポイント上回り、正答率も8.5ポイント上回っている。	目標値に対し、全ての観点で3.9～9.2ポイント上回り、正答率も5.3ポイント上回っている。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値に対し、1.5ポイント上回っている。基本的な知識や実験・観察をする技能、器具の操作方法などがある程度身に付いている。	目標値に対し、4.3ポイント上回っている。科学的な見方で自然現象を考察する力が身に付いている。	目標値に対し、0.1ポイント下回っている。自然現象を身近に捉え、主体的に学習に取り組もうという姿勢をさらに高めていく。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値に対し、5.3ポイント上回っている。基本的な知識や実験・観察をする技能、器具の操作方法などが身に付いている。	目標値に対し、2.8ポイント上回っている。科学的な見方で自然現象を考察する力が身に付いている。	目標値に対し、2.1ポイント上回っている。自然現象を身近に捉え、主体的に学習に取り組むことができている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値に対し、11.1ポイント上回っている。基本的な知識や実験・観察をする技能、器具の操作方法などがある程度身に付いている。	目標値に対し、9.0ポイント上回っている。科学的な見方で自然現象を考察する力が身に付いている。	目標値に対し、9.8ポイント上回っている。自然現象を身近に捉え、主体的に学習に取り組むことができている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業で使用したプリントやレポートをノートに整理・保管させ、学習内容の振り返りをしやすい環境をつくる。定期考査前や長期休業期間は課題を出し、既習事項の定着を図る。また、多くの観察・実験を行い、ICT機器を積極的に授業に取り入れ、視覚的・体験的に実験操作を確認できる授業を展開する。	観察・実験を中心とした授業を行い、レポートに結果をまとめて科学的に考え、わかりやすく表現する力を育てる。実験のまとめを行う授業では、班やクラス全体で自分の考えを発表する機会を増やすとともに、ICT機器を積極的に活用して表現力の育成を図る。また、実験を中心とした文章問題に取り組み、話し合い活動を行うことで、科学的な思考力を育成する。	デジタル教科書、書画カメラ等のICT機器を積極的に活用した指導を展開する。また、科学に関する話題・ニュース等を取り上げ、自然事象に関心を持ち、より身近に捉えることができるような指導を展開する。また、実験レポートや定期考査によって、自己の学習を意欲的に進める力を育てる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業で使用したプリントやレポートをノートに整理・保管させ、学習内容の振り返りをしやすい環境をつくる。定期考査前や長期休業期間は課題を出し、既習事項の定着を図る。また、多くの観察・実験を行い、ICT機器を積極的に授業に取り入れ、視覚的・体験的に実験操作を確認できる授業を展開する。	観察・実験を中心とした授業を行い、レポートに結果をまとめて科学的に考え、わかりやすく表現する力を育てる。実験のまとめを行う授業では、班やクラス全体で自分の考えを発表する機会を増やすとともに、ICT機器を積極的に活用して表現力の育成を図る。また、実験を中心とした文章問題に取り組み、話し合い活動を行うことで、科学的な思考力を育成する。	デジタル教科書、書画カメラ等のICT機器を積極的に活用した指導を展開する。また、科学に関する話題・ニュース等を取り上げ、自然事象に関心を持ち、より身近に捉えることができるような指導を展開する。また、実験レポートや定期考査によって、自己の学習を意欲的に進める力を育てる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業で使用したプリントやレポートをノートに整理・保管させ、学習内容の振り返りをしやすい環境をつくる。定期考査前や長期休業期間は課題を出し、既習事項の定着を図る。また、多くの観察・実験を行い、ICT機器を積極的に授業に取り入れ、視覚的・体験的に実験操作を確認できる授業を展開する。	観察・実験を中心とした授業を行い、レポートに結果をまとめて科学的に考え、わかりやすく表現する力を育てる。実験のまとめを行う授業では、班やクラス全体で自分の考えを発表する機会を増やす。また、実験を中心とした文章問題に取り組み、話し合い活動を行うことで、科学的な思考力を育成する。	デジタル教科書、書画カメラ等のICT機器を積極的に活用した指導を展開する。また、科学に関する話題・ニュース等を取り上げ、自然事象に関心を持ち、より身近に捉えることができるような指導を展開する。振り返りシートによって学習事項を振り返り、自己の学習を意欲的に進める力を育てる。